

## リニア中央新幹線は自然を破壊し、人間の感性を奪う

このリニアの事業を先導してきたのは、JR 東海を中心としたこれまでの日本の国土開発計画・交通インフラ投資等に関わってきた御用学者、沿線自治体首長、政治家、行政担当官、コンサルタント会社などです。

リニア新幹線が認可されるまでの過程を見ると、安倍官邸の意向とそれを付度する多くの人々の思惑で推進されてきたことが分かります。岩波書店「環境と公害」リニア新幹線特集 橋山禮次郎氏寄稿「リニアプロジェクトの前途を問う」をご覧ください。

すでに山梨実験線で問題となっていますが甲府盆地のリニアは地上 35m 前後の高架橋上を走破します。日影、騒音など多くの問題がなおざりのままです。また多くのトンネルによって大きな沢の水がいくつも枯れました。掘削で出る残土の保管や処分方法など大きな問題もあります。ほとんど解決や見通しが立っていない状況のまま工事が強引に進められています。何故か箝口令が敷かれている如くマスコミは沈黙しています。私は、「あまりの自然破壊の大きさに実験線沿線の人たちは言葉を失った」というのが正直な話ではないかと思っています。

「南アルプストンネルは自然を破壊する。JR 東海に環境保全対策は無く、ずさんな環境アセスは破たん」と専門家が指摘しています。優良新幹線を御旗にしてトップ企業『JR 東海』の裏側の不誠実さ横暴さに「NO!」と声をあげている沿線住民は裁判に訴え、また静岡県などは JR 東海を信用出来ないとして工事認可に応じていません。

「国有林管理法」が、昨年 9 月に改悪され、「国有林を民間に売り渡すことや、木を切ること、木を切った後木を植えなくて良いこと」が合法化されました。この国に生活している私たちは、でたらめ政治を止める覚悟が必要です。そうでなければ、私たちも自然破壊の加担者になってしまいます。

今、リニア推進勢力は、お金とメディアを使って、「静岡たたき」に躍起です。

下記の日程で「リニアストップパレード」を行います。リニア反対の団体・個人どなたでも参加できます。ぜひご参加ください。

日時 2020年2月24日(月・祝)

10:30 総合市民会館3回4号 集合

11:00 パレード出発 南甲府駅横 JR 東海山梨事務所まで  
ご用意できる方は、グッズを持ってご参加ください。

主催 2・24統一実行委員会

連絡先 川村 (電話 055-252-0288)

2020・1・25 リニア中央新幹線研究会 佐藤桂子